

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

2023年 5月 31日

札幌市長 様

提出者

住 所 札幌市清田区清田1条1丁目2-1

氏 名 北海道コカ・コーラプロダクツ株式会社

代表取締役社長 内田 尋己

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-888-2141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北海道コカ・コーラプロダクツ株式会社 札幌工場
事業場の所在地	札幌市清田区清田1条1丁目2-1
計画期間	2023年4月1日 から 2024年3月31日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	清涼飲料製造業 【101】
② 事業の規模	資本金 50,000千円 2022年度生産量 224,566kl
③ 従業員数	171名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・植物性残さ(コーヒー粕・茶粕) →収集運搬、再生処理業者に委託し、堆肥、肥料として再資源化</li><li>・廃プラ →収集運搬、再生処理業者に委託し、PETフックとして再資源化、PETとしてサマルサイクル</li><li>・汚泥、廃ガラス、廃油 →収集運搬、再生処理業者に委託し、セメント材料として再資源化</li></ul>

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図)						
環境管理組織図 別紙参照						
産業廃棄物管理責任者 総務部長						
産業廃棄物管理担当者 総務課員						
マニフェスト処理・管理、廃棄物置場点検・清掃を月1で実施、廃棄物関連業務点検を年2で実施						
従業員には廃棄物分類方法の教育、廃棄物置き場の周知を実施						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
① 現状	【前年度(2022年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラ	汚泥	廃油	ガラス
	排出量	1,184 t	33 t	32 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラ	汚泥	廃油	ガラス
	排出量	1172 t	33 t	32 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の分別に関する事項						
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
	全てリサイクルされ、ゼロエミッションを継続中。					
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
	引き続きゼロエミッションを継続します。					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラ	汚泥	廃油	ガラス
	全処理委託量	1,184 t	33 t	32 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	434 t	15 t	31 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	750 t		1 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		18 t			
(これまでに実施した取組)						
植物性残渣（コーヒー粕・茶粕）→有価物引取業者複数契約により減少 処理業者現地視察を年1回行っている。						

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラ	汚泥	廃油
② 計画	全処理委託量	1,172 t	33 t	32 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	430 t	15 t	31 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	742 t		1 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			18 t		
		(今後実施する予定の取組)				
		植物性残渣 (コーヒー粕・茶粕) →有価物引取業者新規契約2社予定				
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請け完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによつて減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 前年度(2022年度)の実績 と 本年度(2023年度)の目標

単位:t

	植物性 残渣	プラスチック	汚泥	廃油	ガラス	金属くず	計
前年度の産業 廃棄物発生量	1,184	33	32	0	0	0	1249
①産業廃棄物 発生量(目標)	1172	33	32	0	0	0	1237
⑤直接委託 処分量(目標)	1172	33	32	0	0	0	1237

- 1: 廃棄物の自己処理はなく、すべて産業廃棄物処理業者に委託しています。
- 2: 処理業者によりすべてリサイクルされ、ゼロエミッションを継続しています。
- 3: 植物性残渣は原材料に由来するもので生産量に連動します。
- 4: 金属くず、プラスチックは生産工程上のロス、及び非製品の発生が主たる原因です。本年度は1%削減を目指します。
- 5: 排出する廃棄物の 93.7% を占める植物性残渣(コーヒー豆滓、茶粕)は再生利用の一般指定として適正に再利用されています。

## 1 . 会社 概要

- 1 : 会社名  
北海道コカ・コーラプロダクツ株式会社  
札幌市清田区清田1条1丁目2番1号
- 2 : 設立  
平成18年4月
- 3 : 資本金  
50,000千円
- 4 : 従業員数(委託社員を含む)  
287名 ( 令和5年4月 )
- 5 : 事業内容  
清涼飲料水の製造 (札幌工場)  
自販機などの機械修理(整備工場)

## 2 . 当該事業所の事業概要

- 1 : 事業署名  
札幌工場
- 2 : 従業員数  
171名 ( 令和5年4月 )
- 3 : 2022年度 生産数(行政年数4月～3月)  
224,566 kℓ
- 4 : 主な生産品  
コカ・コーラシリーズ、ファンタシリーズ、Qooシリーズ、アクエリアスシリーズ  
ジョージアシリーズ、爽健美茶、綾鷹、いろはすシリーズ 他
- 5 : 製造工程図  
別紙1、別紙2 参照
- 6 : 管理組織図  
別紙3 参照
- 7 : 連絡先  
北海道コカ・コーラプロダクツ株式会社 総務部 総務課  
011-888-2141
- 8 : 計画期間  
2023年4月1日 ~ 2024年3月31日 まで



### 3 . 廃棄物処理の現状

札幌工場は平成13年11月に排出される全ての廃棄物を再資源化するゼロエミッションを達成し、現在も継続しています。

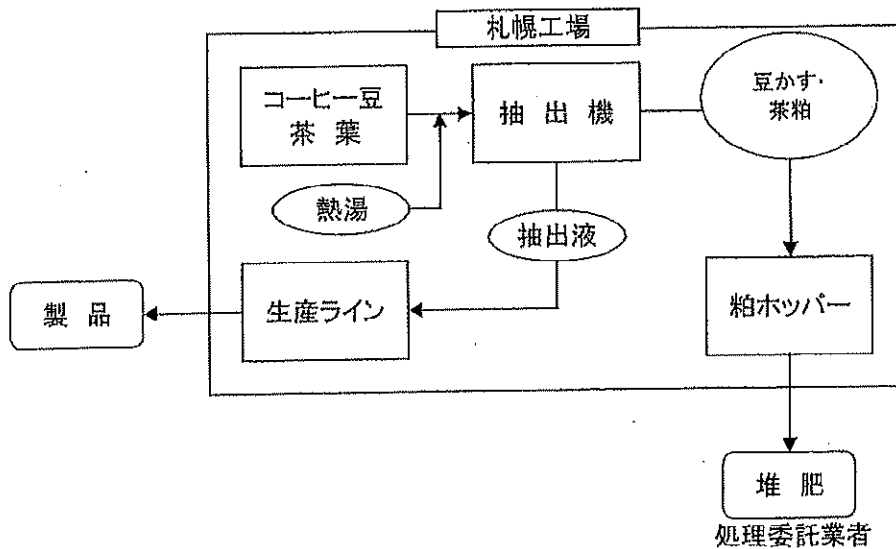
廃棄物の分別を徹底し、それぞれの再資源化ルートにのせています。  
98～99パーセントがマテリアルリサイクル(再生利用)、残りがサーマルリサイクル(熱回収)とリユース(再利用)になっています。

### 4 . 産業廃棄物の内容 ( 2022年 4月 ~ 2023年 3月 )

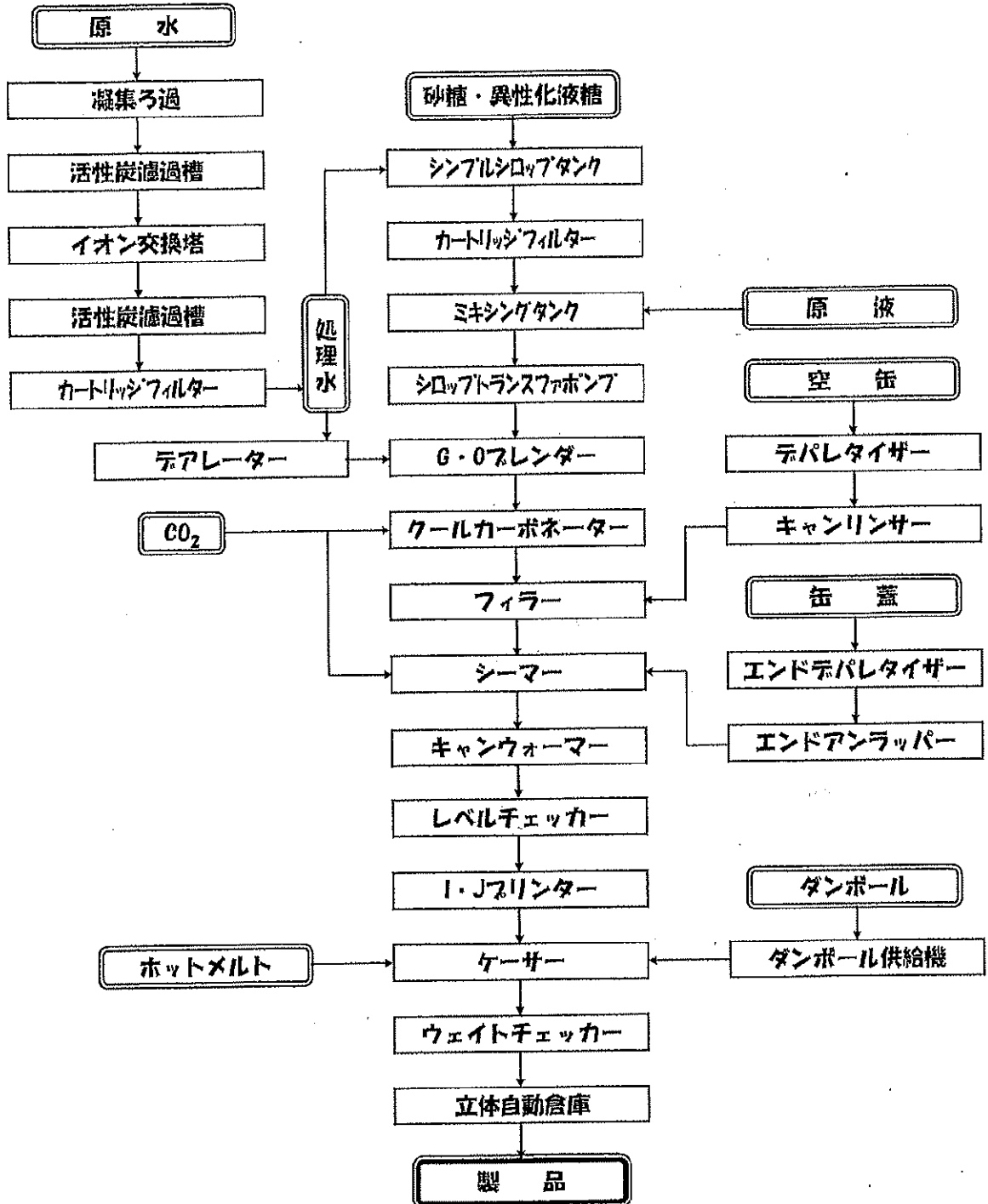
廃棄物	発生量(t)	比率(%)
植物性残渣	1,184	93.7%
廃プラスチック	33	2.6%
金属くず	0	0.0%
ガラスくず	0	0.0%
汚泥	32	2.5%
廃油	0	0.0%
一般廃棄物	13	1.0%
別管理産業廃棄物	1	0.1%
計	1,263	-

### 5 . 廃棄物処理フロー図

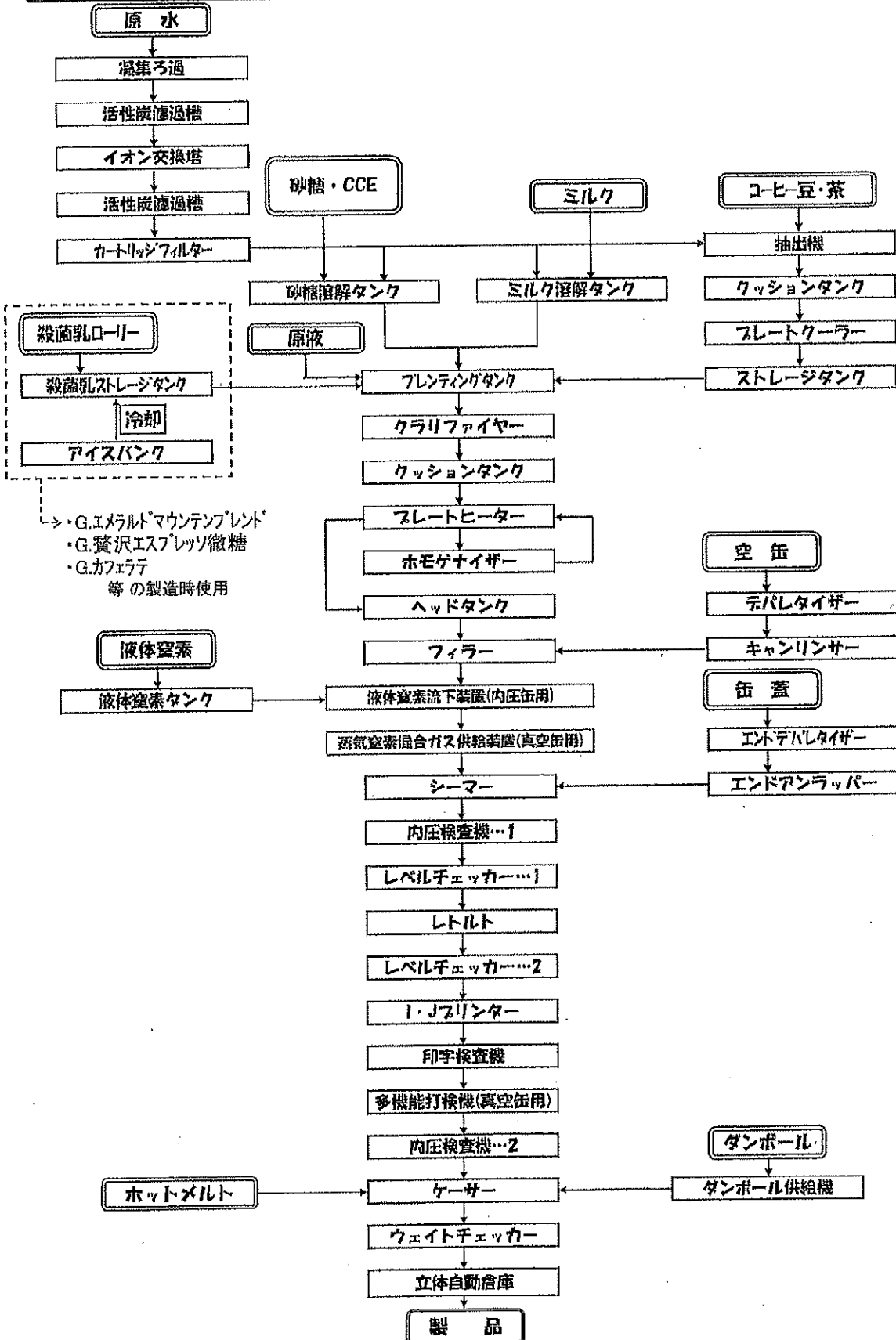
廃棄物のうち、93.7% を占める植物性残渣(コーヒー豆粕・茶粕)の処理フロー



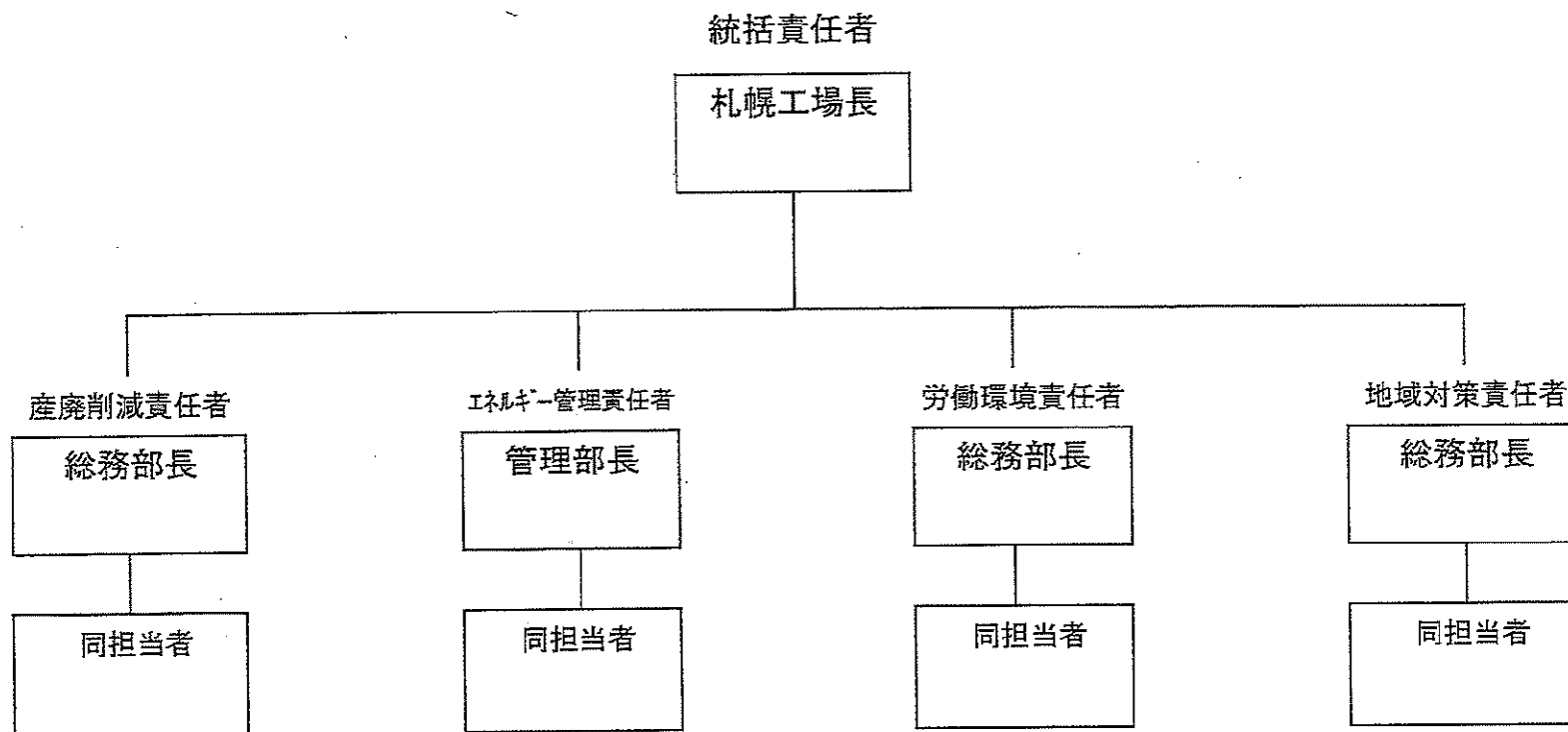
製造工程表 (炭酸缶製造)



# 製造工程表 (コーヒー製造)



### 北海道コカ・コーラプロダクツ(株) 札幌工場 環境管理組織図



2023年4月現在